



本 社 前 景

## 高田香料株式会社（製造業）

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役社長  
馬野 克己

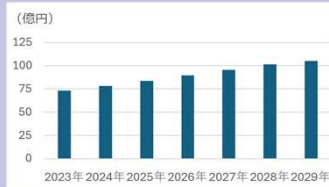
## 一歩先を見据えた香りづくりを志し、豊かな食文化に貢献

当社は、一歩先を見据えた香りづくりを通じて、豊かな食文化に貢献することを使命としております。創業以来培ってきた技術力と創意工夫を基盤に、多様化するお客様のニーズに柔軟かつ的確に応えてまいりました。今後は、粉末香料の増産体制構築、本社液体香料工場の刷新、研究開発・品質保証体制の強化、海外展開の加速を通じて、事業基盤をさらに強化してまいります。また、品質、安全性、環境対応を重視し、持続的な成長と社会への貢献を両立してまいります。これらの取り組みにより、投資計画期間中に年平均10%以上の売上高成長率を目指し、売上高100億円超の実現に挑戦してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

## 実現目標

当社は、2025年9月期売上高84億円を基準に、生産能力強化、研究開発・品質保証体制の充実、海外展開の加速などの成長投資を進め、投資計画期間中に年平均10%以上の売上高成長率を目指します。これにより、2028年に売上高100億円を目指し、持続的な成長基盤を確立します。



## 課題

- ・ 拡大する粉末香料需要に対し、現行生産能力では中長期的な供給余力が不足している。
- ・ 脱炭素経営やカーボンニュートラルへの対応が求められる中、省エネルギー化や環境負荷低減に向けた設備・運用体制の強化が必要である。
- ・ 生産拠点の集中により、災害時や地政学的リスク発生時の供給継続体制に課題がある。
- ・ 本社液体香料工場の老朽化により、生産効率、品質保証、安全性、環境性能の面で刷新が必要である。
- ・ 海外市場向け製品、特にハラル認証対応製品の供給体制が十分ではない。
- ・ 高成長を支える研究開発、人材、品質保証、物流体制の強化が必要である。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

## 目指す成長手段

- ・ 粉末香料の増産体制構築と複数拠点生産によるBCP強化
- ・ 脱炭素経営の推進（ロードマップ策定、中小企業版SBT認証取得に向けた取組、省エネルギー化・環境負荷低減の推進）
- ・ 本社液体香料工場の全面建替えによる生産効率・品質・環境性能の向上
- ・ 新社屋のZEB Ready対応を見据えた省エネルギー性能向上
- ・ 国内生産能力の強化による輸出拡大
- ・ 海外展開の強化（ハラル認証製品の拡充）
- ・ 研究開発・品質保証体制の強化
- ・ 専門人材の採用・育成による組織体制の強化

## 実施体制

- ・ 経営陣による統括体制
- ・ 設備投資プロジェクトチームの設置
- ・ 脱炭素経営推進体制の整備
- ・ 研究開発・品質保証体制の強化
- ・ 海外展開推進体制
- ・ 生産・物流体制の強化
- ・ 人材確保・育成

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

○本社所在地：兵庫県尼崎市

○事業概要：各種香料・調味料の製造販売

○常時使用する従業員：176名

（2026年1月時点）

○現在の売上高：84億円

（2025年9月期）

○法人番号：7140001049826

○Web：<https://www.takatakoryo.co.jp/>

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

**1. 粉末香料の増産体制構築と複数拠点生産によるBCP強化**

関東工場内に粉末香料新工場および危険物倉庫を整備し、増産体制を確立するとともに、本社工場との複数拠点生産により安定供給力を高めます。2028年春の稼働を目指し、需要拡大への対応と供給リスク分散を図ります。

**2. 脱炭素経営の推進とカーボンニュートラルに向けた取組強化**

中小機構のハンズオン支援を活用し、カーボンニュートラルに向けたロードマップ策定を進めるとともに、中小企業版SBT認証取得に向けた取組を推進します。あわせて、省エネルギー化や環境負荷低減に資する設備導入・運用改善を進め、持続可能な成長基盤の強化を図ります。

**3. 本社液体香料工場の全面建替えによる生産効率・品質・環境性能の向上**

老朽化した本社液体香料工場を刷新し、あわせて研究棟・事務棟を再整備することで、生産性、品質保証、安全性、研究開発力を向上させます。

**4. 新築建物のZEB Ready対応を見据えた省エネルギー性能向上**

高効率空調、換気、照明等の建物附属設備を導入し、省エネルギー性能を高めるとともに、エネルギーコスト削減、ESG対応強化、顧客からの信頼向上につなげます。

**5. 国内生産能力の強化による輸出拡大**

海外委託生産への依存を低減し、国内生産能力を高めることで、韓国をはじめとする海外向け販売拡大を図り、地政学リスクに左右されにくい供給体制を構築します。

**6. 海外展開の強化（ハラール認証製品の拡充）**

シンガポール拠点のOEM先との連携を強化し、ハラール認証製品のラインナップ拡充を進め、ASEAN市場を中心とした海外販売を強化します。

**7. 研究開発・品質保証体制の強化**

新研究棟の整備と専門人材の強化により、新製品開発力と品質保証水準を高め、高付加価値製品の創出と食品安全対応の高度化を図ります。

**8. 専門人材の採用・育成による組織体制の強化**

生産技術、品質保証、研究開発、海外営業等の専門人材を計画的に採用・育成し、成長戦略の実行力を高めます。

## 売上高100億円実現に向けた実施体制：詳細

### 1. 生産体制強化プロジェクトの推進

粉末香料新工場建設および危険物倉庫整備について、関係部門横断のプロジェクトチームを設置し、工程管理、安全管理、品質管理を一体的に推進します。本社工場との複数拠点生産体制を構築し、BCP強化と安定供給力向上を図ります。

### 2. 脱炭素経営推進体制の整備

中小機構のハンズオン支援を活用し、カーボンニュートラルに向けたロードマップ策定を進めるとともに、中小企業版SBT認証取得に向けた社内推進体制を整備します。あわせて、省エネルギー化や環境負荷低減に向けた設備導入・運用改善を推進します。

### 3. 本社工場再整備プロジェクトの推進

本社液体香料工場建替え、研究棟・事務棟再整備について、関係部門横断のプロジェクトチームを設置し、生産性、品質保証、安全性、研究開発力の向上に向けて計画的に推進します。

### 4. ZEB Ready対応を見据えた環境性能向上の推進

新築建物における高効率空調、換気、照明等の導入を計画的に進め、省エネルギー性能向上と環境負荷低減を図ります。これにより、エネルギーコスト削減とESG対応強化を推進します。

### 5. 海外展開・輸出拡大推進体制の強化

海外営業部門を中心に、シンガポール拠点のOEM先との協業体制を強化し、ハラル認証製品の拡販を推進します。また、国内生産部門と連携し、韓国をはじめとする海外向け販売拡大に対応した安定供給体制を構築します。

### 6. 開発・品質保証体制の強化

新研究棟整備にあわせて研究開発部門を増員し、品質保証部門と連携して高付加価値製品開発と品質保証高度化を進めます。

### 7. 人材確保・育成体制の強化

生産技術、品質保証、研究開発、海外営業などの専門人材を計画的に採用・育成し、成長戦略を支える組織基盤を強化します。

### 8. 経営陣による統括体制

代表取締役社長をトップとする役員会が全体方針を統括し、設備投資、海外展開、生産体制強化、脱炭素経営に関する重要事項を迅速に意思決定します。各施策の進捗を定期的に確認し、計画の着実な実行を図ります。